

陸連時報 三

2017
平成29年

3 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

目 次

2017年を迎えて(専務理事 尾縣貢).....	166
強化関連情報(強化委員会).....	167
第2回アジアユース陸上競技選手権大会(2017/バンコク)日本代表選手選考要項	
第10回U18世界陸上競技選手権大会(2017/ナイロビ)日本代表選手選考要項	
2017日本グランプリシリーズ情報.....	168
“日清食品カップ”第19回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会報告 (普及育成委員会 普及育成部 熊原誠一).....	171
JAAF2016年度U16全国研修合宿報告(普及育成委員会U16担当副部长 舟橋昭太) / 日本陸上競技連盟栄養セミナー 2017開催要項.....	172
第207回国際陸上競技連盟(IAAF)カOUNシル会議報告(会長 横川浩).....	174
国際陸上競技連盟(IAAF)から各国陸連等に発信される通達文書一覧.....	175
施設用器具委員会報告(2016-2)(施設用器具委員会).....	176
大会観戦ガイド.....	178
陸協NEWS.....	180
事務局からのお知らせ.....	182

公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

2017年を迎えて

専務理事 尾 縣 貢



2011年スポーツ基本法施行、2013年東京オリンピック・パラリンピック開催決定、2015年スポーツ庁設置という歴史的出来事を経て、スポーツ界を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。2020東京を大目標とする一方で、これを機にスポーツ自体が持つ価値を見直そうという動向もあります。例えば、スポーツを成長産業と位置づけ、その市場規模を2025年には約9.5兆円アップの15兆円に拡大しようとする取り組みも始まりました。大きな変革の渦の中、陸上競技をより発展させるためには、様々な状況に臨機応変に対応していくことも重要であると感じています。

とは言え、喫緊の課題は、3年半後に迫った東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、陸上競技関係者及びご支援をいただいている皆さまの総力を結集することです。既に準備は進行中ですが、今年は目まぐるしいスピードで物事が進んでいくものと予想しています。

東京オリンピックの成功のためには、次の3つの目標を達成することが求められます。

- 1) アスリートが活躍する
- 2) オールジャパン体制で最高の競技運営を行う
- 3) 2020年以降に脈々と引き継がれるレガシーを残す
チームジャパンの活躍

伊東浩司氏を強化委員長とする強化新体制が昨年11月に発足しました。その後、2020東京を見据えた斬新な強化戦略概要が公表されました。その主な特徴は、これまでのブロック別の強化を廃止し、種目別・個人別の強化にシフトするとともに、目指す目標ごとにステージを設定し、それぞれに応じた強化策を展開するというものです。

ゴールドメダルターゲットは男子400mリレー、競歩、メダルターゲットは男子400mハードル、男子棒高跳、男子やり投。その下にはトップ8ターゲット、続いてアジアでの活躍を目指すワールドチャレンジを置いています。男女マラソンは、そのポテンシャルと国民の期待度から、マラソン強化戦略プロジェクトを新設し、復活を目指します。

また、強化活動においては、これまで以上にアンチドーピング活動を重視していく必要があります。これは、ロシアの組織ぐるみのドーピング問題などで評価を下げている陸上競技の国際的評価を高めること、また、2020東京オリンピック・

パラリンピックのイングリティを高めることにも貢献すると考えます。

最高の競技運営

日本の競技会運営は世界に誇れるものです。世界のアスリートたちが気持ちよく競技ができ最高のパフォーマンスが発揮できるように競技運営委員会を中心に取り組んでいきます。公平、アスリートファースト、日本らしさ、ホスピタリティなどを尊重した運営を実現しなければなりません。そのためには、JTO (Japan Technical Official) に加え全国から選出された精鋭に国際競技大会の運営に必要とされる能力を育成していただくことになります。これも2020年後のレガシーの創出につながってくると考えます。

レガシーの創出

2020年での成功を目指しつつ、同時にレガシーを創出する活動を続けることが、東京オリンピック以降の陸上界の隆盛につながると考えています。そこで、本連盟では、若手競技者の育成、指導者の育成、ウエルネス陸上の発展をレガシーにつなげるべく、それぞれの事業を推進していきます。

- 1) 若手競技者の育成：東京マラソン財団レガシー事業および安藤スポーツ食文化振興財団の協賛を得て展開をしている「ダイヤモンドアスリート認定制度」および「グローバルチャレンジプロジェクト」を通して、2020年以降も陸上界のリーダーとなれる若手アスリートの育成を図っていきます。これらの取り組みでは、多くの国際経験を積み国際的アスリートになることに加え、リーダーとして相応しい人間力を高めていくことにも取り組んでいます。
- 2) 指導者の育成：日体協の資格を有している指導者数は、サッカーや水泳と比較して極めて少なく、加盟団体では11番目の位置にあります。アスリートの健全な育成には、優れたコーチの存在が必須であるため、陸上競技ジュニアコーチ（体協指導員）の有資格者を2020年には5000名に増やすことを目指しています。
- 3) ウエルネス陸上の発展：競技陸上だけでなく、健康や楽しみを求めて行うウエルネス陸上についても振興を図っていきます。愛好者数や取り組みやすさという点から、市民マラソンの健全な普及をテーマとしています。具体的な課題としては、大会同士の情報の交換、安心安全な大会づくり、正しいランニングの普及、ランナーサービスの検討があげられます。市民マラソンに関わる関係者の皆さんと連携をしながら、スポーツ庁が掲げる「成人の週1回以上のスポーツ実施率を2/3以上に増やすこと」を目標に取り組んでいきます。

これらの活動を展開する上で、加盟団体、協力団体、スポンサー各社、陸上ファンの皆様の支えが必須となります。本年の日本陸上競技連盟の活動、そして2020年に向けての活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

強化関連情報

強化委員会

第2回アジアユース陸上競技選手権大会 (2017 / バンコク) 日本代表選手選考要項

大会期日: 2017年5月20日~23日

開催地: バンコク (タイ)

1. 編成方針

若年層の競技者に多くの国際経験を積ませることを目的とする。国内競技会を十分に考慮し、高校1年生を中心としたチーム編成とする。

2. 参考競技会

2016年度日本陸上競技連盟公認競技会

3. 選考基準

参考競技会の競技成績を基に、強化育成部が推薦する競技者

4. 選考方法

選考基準に則り、強化育成部選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事が承認する。

5. 補足

- (1) 種目ごとの代表はアジア陸上競技連盟が定めるエントリールール以内の人数とする。
- (2) リレー種目については、個人種目のエントリー状況などから総合的に判断し、派遣を検討する。
- (3) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消することがある。

第10回U18世界陸上競技選手権大会 (2017 / ナイロビ) 日本代表選手選考要項

大会期日: 2017年7月12日~16日

開催地: ナイロビ (ケニア)

1. 編成方針

国際大会での競技力向上よりも国際大会で経験を積むことを重視する。ユース世代で活躍している競技者を中心に編成するが、2020東京オリンピック、更にはその先のシニア国際大会を見据えて、タレントトランスファーを考慮した競技者を選出する。

2. 選考競技会

(1) トラック&フィールド種目 ※下記参考競技会(2)・(3)・(4)の種目以外

- 1) 第70回全国高校総体陸上競技大会都道府県及びその支部予選会 (2017)
 - 2) 2017年日本グランプリシリーズ各大会 (2017)
 - 3) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会
- (2) 男子3000m、男女2000m障害
 - 1) 第65回兵庫リレーカーニバル
 - 2) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会
 - (3) 男子砲丸投 (5.0kg)、男子円盤投 (1.5kg)、男子ハンマー投 (5.0kg)
女子砲丸投 (3.0kg)、女子ハンマー投 (3.0kg)
 - 1) 指定競技大会 (現在調整中のため決定し次第随時公表する)
 - 2) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会
- (4) 競歩
 - 1) 第28回ジュニア選抜競歩大会 (2017 / 神戸)
 - 2) 第56回全日本競歩輪島大会 (2017 / 輪島)
 - 3) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会

3. 選考基準

編成方針に基づき、下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

- (1) 男子3000m、男女2000m障害、男女砲丸投、男子円盤投、男女ハンマー投以外
 - 1) 選考競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満たした競技者
 - 2) 選考競技会で、国際陸上競技連盟 (以下、IAAF) が定める参加標準記録を満たした競技者
 - 3) 選考競技会以外の競技会で、本大会の入賞が期待さ

れる記録を満たした競技者

4) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

(2) 男子3000m、男女2000m障害、男女砲丸投、男子円盤投、男女ハンマー投

- 1) 選考競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満たした競技者
- 2) 選考競技会で、IAAFが定める参加標準記録を満たした競技者
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

4. 選考方法

- (1) 参加標準記録を満たした競技者の中から、選考基準に則り強化育成部選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事が承認する。
- (2) 選考にあたっては、育成と普及に配慮して、各ブロックの極端な人数格差が無いようにする。
- (3) 同じ優先順位内での資格記録の比較は、2017年度の記録を優先する。

5. エントリールール

- (1) 参加標準記録の有効期間は2016年10月1日~選考会議 (2017年6月上旬) までとする。
- (2) 種目毎の代表は、IAAFエントリールール以内の人数とする。
- (3) 対象者は、2000年1月1日から2001年12月31日生まれまでの競技者。
- (4) 800mまでは、資格記録として手動の記録は認められない。
- (5) 競歩種目の資格記録は、ロードでの記録も認められる。

6. その他

- (1) 選考競技会は、選考会議 (2017年6月上旬) までに終了した競技会までを対象とする。
- (2) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消することがある。
- (3) 選考基準に定める「入賞が期待される記録」の有効期間は、本大会の参加標準記録の有効期間に準ずる。
- (4) リレー種目については、個人種目のエントリー状況などから総合的に判断し、派遣を検討する。

2017日本グランプリシリーズ情報

2017 日本グランプリシリーズ開催期日及び種目配置

(男子)

種目	エントリー規定数	参加標準記録	1	2	3	4
			混成種目 東京 駒沢 4月22日(土)、4月23日(日)	兵庫リレーカーニバル ユニバー記念 4月23日(日)	織田記念 エディオン 4月29日(土・祝)	静岡国際 エコバ 5月3日(水・祝)
100m	24	10.40			予選/決勝	
200m	24	21.00				予選/決勝
400m	24	46.90				決勝
800m	16	1:50.00				決勝
1500m	16	3:47.00		決勝		
5000m	-	13:43.00			決勝	
10000m	-	28:26.00		決勝		
110mH	24	14.00			予選/決勝	
400mH	24	51.00				決勝
3000mSC	16	8:52.00		決勝		
走高跳	12	2m14				決勝
棒高跳	12	5m20			決勝	
走幅跳	12	7m70			決勝	
三段跳	12	15m85			決勝	
砲丸投	12	16m00				決勝
円盤投	12	50m00		決勝		
ハンマー投	12	62m50			決勝	
やり投	12	73m50			決勝	
十種競技	16	6900	決勝			
実施種目数(GP種目)			1	4	8	6

(女子)

種目	エントリー規定数	参加標準記録	1	2	3	4
			混成種目 東京 駒沢 4月22日(土)、4月23日(日)	兵庫リレーカーニバル ユニバー記念 4月23日(日)	織田記念 エディオン 4月29日(土・祝)	静岡国際 エコバ 5月3日(水・祝)
100m	24	11.85			予選/決勝	
200m	24	24.35				予選/決勝
400m	24	55.15				決勝
800m	16	2:09.00				決勝
1500m	16	4:22.00		決勝		
5000m	-	15:50.00			決勝	
10000m	-	33:20.00		決勝		
100mH	24	13.80			予選/決勝	
400mH	24	59.60				決勝
3000mSC	16	10:35.00		決勝		
走高跳	12	1m74		決勝		
棒高跳	12	3m70			決勝	
走幅跳	12	6m00		決勝		
三段跳	12	12m40				決勝
砲丸投	12	13m80				決勝
円盤投	12	46m00		決勝		
ハンマー投	12	54m00				決勝
やり投	12	53m00			決勝	
七種競技	16	4800	決勝			
実施種目数(GP種目)			1	6	5	7
男女計(GP種目)			2	10	13	13

2017 日本グランプリシリーズ 申込要領 兼 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン) 代表選手選考競技会

参加資格	(1) 有効期限内に参加標準記録を満たした競技者 (2) 日本陸連強化競技者及び強化委員会が指定する競技者 (3) 第100回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走男子12km、女子8km優勝者 (4) 主催者又は日本陸連強化委員会が承認した競技者 ○出場者は、主催者側が決定する。 ○競技運営上、参加標準記録を満たしても各種目の規定数に基づきエントリーできない場合がある。 ただし、エントリーされた上位競技者に欠場が出た場合は、主催者の判断で、繰り上げてエントリーされることがある。 ○各種目の、エントリーできる競技者の規定数は原則上記の通りとするが、主催者が競技運営上問題がないと判断した場合に限り、規定数以上の競技者をエントリーすることができる。 ○男女5000m・男女10000mは規定数は設けませんが、競技運営上困難が生じた場合は参加資格を有する競技者であってもエントリーを制限されることがある。 ○参加標準記録を満たし、申込をした競技者で、規定数の関係でエントリーができなかった競技者の申込金は後日返金される。 ○日本陸連に登録している外国籍競技者のグランプリ種目への参加は、原則各種目の2016年度の最高記録を参考とし上位6名までとする。					
	参加標準記録有効期間 2016年1月1日より下記に定める各大会の申込締切日前日までとする。					
申込先・問合せ 申込料	別記 各大会事務局 ※主催陸上競技協会(東京・兵庫・広島・静岡)のホームページから各大会の申し込み方法に従い、申し込むこと。 一般種目1種目 3,000円/混成競技 5,000円 *招待競技者は無料					
申込スケジュール	大会名	受付開始	申込締切	エントリー公開	エントリー更新日	大会
	日本GP第1戦 混成種目 東京大会2017(仮称)	3月10日(金)	3月24日(金)17:00	4月3日(月)	4月10日(月)	4月22日(土)、4月23日(日)
	日本GP第2戦 第65回兵庫リレーカーニバル	3月10日(金)	3月24日(金)	3月31日(金)	4月10日(月)	4月23日(日)
	日本GP第3戦 第51回織田幹雄記念国際陸上競技大会	3月17日(金)	4月10日(月)	4月17日(月)	4月24日(月)	4月29日(土・祝)
	日本GP第4戦 第33回静岡国際陸上競技大会	3月10日(金)	4月3日(月)13:00	4月11日(火)	4月21日(金)	5月3日(水・祝)
出場可否及び ウェイトリ ングリストからの 追加について	出場可否については、各大会事務局より本人宛へ詳細(招待競技者も含め)を通知する。(大会HPでも公開予定) エントリーリスト公開の際に、参加標準記録を満たしたが規定数の関係でエントリーできなかった選手は、ウェイトリ ングリストに登録される。 エントリーリスト公開後に上位競技者に欠場が出た場合は、主催者の判断でウェイトリ ングリストの上位競技者から繰り上げてエントリーされる。 追加される際は、各大会事務局より本人に通知する。 ※エントリーが確定した競技者で故障等で棄権が決まった場合は、ウェイトリ ングリストからの追加の関係もあるため、速やかに大会事務局まで棄権 届けを提出すること。					
未成年競技者 親権者からの ドーピング検査 に対する 同意書の取得	2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会 に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となりました。 ①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯する必要があります。同意書は http://www.jaaf.or.jp/pdf/doinho.pdf からダウンロード出来ます。 ②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出する必要があります。提出は未成年時 に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出て下さい。会場において、 原本の提出がなくとも、検査は行われますが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出する必要があります。					

日本GP第1戦 混成種目 東京大会2017 (仮称) 兼 第16回世界陸上競技選手権大会 (2017/ロンドン) 代表選手選考競技会	
大会日	2017年4月22日 (土) ~23日 (日)
大会会場	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 〒154-0013東京都世田谷区駒沢公園1-1 TEL : 03-3421-6199
大会事務局	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-28-3 武井ビル5階 公益財団法人東京陸上競技協会 TEL : 03-3203-6123/FAX : 03-5292-0196
大会本部ホテル	調整中
申込ホームページ	http://www.toriku.or.jp

日本GP第2戦 第65回兵庫リレーカーニバル 兼 第16回世界陸上競技選手権大会 (2017/ロンドン) 代表選手選考競技会	
大会日	2017年4月23日 (日)
大会会場	ユニバー記念競技場 〒654-0163 神戸市須磨区緑台 TEL : 078-793-6150
大会事務局	〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸新聞社 地域活動局事業部内 TEL : 078-362-7086/FAX : 078-360-5519
大会本部ホテル	ANA クラウンプラザホテル神戸 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目 TEL : 078-291-1121/FAX : 078-291-1151
申込ホームページ	http://www.haaa.jp

日本GP第3戦 第51回織田幹雄記念国際陸上競技大会 兼 第16回世界陸上競技選手権大会 (2017/ロンドン) 代表選手選考競技会	
大会日	2017年4月29日 (土・祝)
大会会場	広島広域公園陸上競技場 〒731-3167 広島市安佐南区大塚西五丁目1番1号 TEL : 082-848-8484/FAX : 082-848-8460
大会事務局	〒730-0011 広島市中区基町4-1 広島県体育協会内 広島陸上競技協会 TEL : 082-223-3256/FAX : 082-222-6991
大会本部ホテル	リーガロイヤルホテル広島 (RIHGA ROYAL) 〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL : 082-502-1121/FAX : 082 - 228-5415
申込ホームページ	http://hiroshimatf.org

日本GP第4戦 第33回静岡国際陸上競技大会 兼 第16回世界陸上競技選手権大会 (2017/ロンドン) 代表選手選考競技会	
大会日	2017年5月3日 (水・祝)
大会会場	静岡県小笠山総合運動公園 エコパスタジアム 〒437-0031 袋井市愛野2300-1 TEL : 0538-41-1800/FAX : 0538-41-1807
大会事務局	〒420-0839 静岡市葵区鷹匠1-14-31 吉野壽ビル2F 静岡陸上競技協会 静岡国際陸上事務局内 TEL/FAX : 054-253-9801
大会本部ホテル	掛川グランドホテル 〒436-0028 掛川市亀ノ甲1-3-1 TEL : 0537-23-3333/FAX : 0537-23-2290
申込ホームページ	http://www2.wbs.ne.jp/~nagata/t&f/

※2017日本グランプリシリーズに関する最新情報は、日本陸連WEBサイトへ掲載しますので、そちらでご確認下さい。

2017年度日本グランプリシリーズ招待選手

2017年度日本グランプリシリーズの招待基準と招待競技者は以下の通りとする。

1. 招待基準

- 1) 日本陸連強化競技者
- 2) 日本陸連強化委員会指定競技者
- 3) 2016年度当該種目の日本ランキング1位の競技者
- 4) 2016年度日本選手権大会3位までの入賞者(但し、その種目)

2 招待競技者一覧

(男子)

種目	招待競技者
100m	桐生 祥秀、ケンブリッジ 飛鳥、山縣 亮太
200m	飯塚 翔太、高瀬 慧、原 翔太、藤光 謙司
400m	ウォルシュ ジュリアン、加藤 修也、北川 貴理、金丸 祐三、田村 朋也
800m	川元 奨、三武 潤、西久保 達也
1500m	戸田 雅稀、冨田 三貴、加藤 光
5000m	市川 孝徳、大迫 傑、
10000m	上野 裕一郎、大六野 秀敏、村山 紘太、設楽 悠太
110mH	矢澤 航、増野 元太、金井 大旺
400mH	野澤 啓佑、松下 祐樹、小西 勇太
3000mSC	濃滝 大記、塩尻 和也、山口 浩勢
走高跳	衛藤 昂、佐藤 凌、高張 広海
棒高跳	澤野 大地、荻田 大樹、山本 聖途
走幅跳	城山 正太郎、嶺村 鴻汰、手平 裕士
三段跳	長谷川 大悟、山本 凌雅、石川 和義、山下 航平
砲丸投	畑瀬 聡、中村 太地、武田 歴次
円盤投	堤 雄司、知念 豪、湯上 剛輝
ハンマー投	柏村 亮太、植松 直紀、赤穂 弘樹
やり投	新井 涼平、村上 幸史、長谷川 鉦平
十種競技	中村 明彦、川崎 和也、清水 剛士、右代 啓祐

- 5) 第100回日本陸上競技選手権大会クロスカン トリー競走男子12km、女子8km優勝者
- 6) 上記に該当しない2016年度日本ランキング上位の競技者の中から、日本陸連強化委員会及び主催者が特別に推薦する競技者

※男女の5000mと10000mは、両種目とも有効とする。ただし、5000m、10000mについては、下記の招待競技者の中で出場申込が確認された各種目招待基準の上位から6名前後の競技者を、大会主催者及び日本陸上競技連盟強化委員会にて検討の上決定する。

(女子)

種目	招待競技者
100m	福島 千里、斎藤 愛美、世古 和
200m	福島 千里、斎藤 愛美、市川 華菜
400m	青山 聖佳、青木 りん、樫山 楓
800m	福田 翔子、山田 はな、大森 郁香
1500m	飯野 摩耶、木村 友香、田中 希実
5000m	木村 友香、尾西 美咲、
10000m	鈴木 亜由子、関根 花観、高島 由香、上原 美幸
100mH	紫村 仁美、木村 文子、安部 遥香、青木 益未
400mH	吉良 愛美、石塚 晴子、王子田 萌
3000mSC	高見澤 安珠、森 智香子、三郷 実沙希
走高跳	渡邊 有希、京谷 萌子、平山 遥、福本 幸、仲野 春花、津田 シェリアイ
棒高跳	我孫子 智美、青島 綾子、今野 美穂
走幅跳	甲斐 好美、ヘンプヒル 恵、清水 珠夏
三段跳	宮坂 楓、小木曾 麻佑、岡野 菜穂子
砲丸投	郡 菜々佳、太田 亜矢、吉野 千明
円盤投	坂口 亜弓、中田 恵莉子、藤森 夏美
ハンマー投	渡邊 茜、綾 真澄、勝山 眸美
やり投	海老原 有希、宮下 梨沙、北口 榛花
七種競技	ヘンプヒル 恵、桐山 智衣、宇都宮 絵莉

※男女5000m、10000mの招待競技者は、第100回日本陸上競技選手権大会クロスカン トリー競走、及び今後開催されるマラソンの結果によって追加の可能性がります。

“日清食品カップ”第19回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会報告

普及育成委員会 普及育成部 熊原誠一

日清食品カップ 第19回 全国小学生クロスカントリーリレー研修大会は、全国47都道府県代表チームと地元大阪の3チームを加えた50チームの参加により、平成28年12月10日(土)・11日(日) 2日間の日程で開催された。

第1日目は、大阪府池田市民文化会館 大ホール(アゼリアホール)において、開講式と研修会・監督会議が行われた。

13時より選手団受付が始まり、14時に開講式が開始された。最初に司会者より、「陸上競技の基本を学び、よい友達づくりをすることを目的とし、小学生期の長距離走・持久走についての正しい技能・トレーニング方法の習得を目指す」という大会の趣旨説明と参加50チームの紹介が行われた。

主催者を代表して公益財団法人 日本陸上競技連盟 普及育成委員会副委員長 東川安雄による歓迎と激励及び研修大会としての意義説明が行われ、開催地池田市を代表して倉田薫市長より歓迎のご挨拶をいただき、14時25分に開講式は終了した。

開講式後、監督者会議は14時30分から2階コンベンションホールに会場を移して行われた。主管である大阪陸上競技協会の司会進行で、大会当日の諸注意が説明され、質疑応答が行われた。

一方、小学生と他の指導者は大ホールで研修会に参加した。研修会は、講師として日本陸上競技連盟普及育成委員会 井筒紫乃委員(長距離走・発育発達)と大畑好美委員(栄養)がクイズ形式で小学生に質問をしながら、発育発達とトレーニングや食事について、ゲストの日清食品グループ陸上競技部の森田修一監督と諏訪利成コーチに経験談などをお聞きしながら、わかりやすく解説した。要約すると、トレーニングは発育発達に応じた内容と量が大切であり、発育発達面からはいろいろな運動を行い、神経系を刺激すること。一例として「じゃんけんゲーム」を紹介した。栄養面ではバランスのとれた食事、特に運動する人はエネルギー源をしっかり摂ること。最後に今大会プログラムにも掲載してある「貧血対処7か条」について説明した。

15時15分には監督会議に出席していた監督も戻り、チームごとにまとまって、「インスタントラーメン発明記念館」見学へ向かった。

第2日目は万博記念公園内特設コースにて、友好タイムトライアルとクロスカントリーリレー大会が行われた。

開会式は、主催の公益財団法人 日本陸上競技連盟 横川浩会長、中曽根弘文評議委員会議長、尾縣貢専務理事、繁田進理事・普及育成委員会委員長、後援・協賛をいただいている公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団理事長・日清食品ホールディングス株式会社代表取締役社長・CEO 安藤宏基様、専務執行役員 松尾昭英様、主管の大阪陸上競技協会会長 松本正義様に御登壇いた

き、参加50チームの選手団が整列して行なわれた。

主催者を代表して日本陸上競技連盟会長 横川浩が歓迎の挨拶を行い、後援・協賛者を代表して安藤スポーツ・食文化振興財団理事長・日清食品ホールディングス株式会社代表取締役社長・CEO 安藤宏基様より激励のご挨拶をいただいた。

選手宣誓は、宮城県代表仙台陸上倶楽部の加藤日向君と佐藤美智花さんの二人が元気よく行ない、大会を盛り上げてくれた。

レースが始まるころから、雲が空を覆い、気温 10.0度、北風が吹き、体感温度がぐっと下がる中、11時30分に女子友好タイムトライアル、11時40分に男子友好タイムトライアルがスタートした。それぞれのレースには日清食品グループ陸上競技部の諏訪コーチが参加して、小学生と一緒に走ってくれた。

クロスカントリーリレーは、11時50分に第1走者が一斉にスタートした。中継所手前で旭川ACの岩田梨花さんが先頭に出て5分09秒で最初にたすきリレーを行った。第2走者で京都桂徳クラブの高木隆誠君(区間賞)が1位となり、第6走者まで先頭を維持して、第6走者森田えん君が先頭でフィニッシュした。優勝記録は30分35秒であった。終了予定時間の12時30分までには50チーム全てが完走した。13時から表彰式が行われ、入賞8チームと区間最高記録賞の選手が表彰された。競技結果の詳細については日本陸上競技連盟ホームページをご覧ください。

なお、昨年の報告書には、連続出場のチームが21チームと報告したが、今回参加50チームの内23チームが昨年に続く連続出場であった。年々出場するチームが常連化しているようである。普及・研修を目的とした大会としては、より多くのクラブチームに参加してもらい、より多くの子供たちが走ることに関心を持ち、継続してくれることを期待している。都道府県でのチーム選考については過去にも議論があったが、再度検討をお願いすることも考えられる。

最後に、後援・協賛の各団体と主管いただいた大阪陸上競技協会の皆様に心より感謝申し上げ、報告とする。



○JOCキャリアアカデミーとの連携

JOCキャリアアカデミーに協力を頂き、チームビルディング研修を実施した。「人間力の向上なくして競技力の向上なし」というJOCのコンセプトに基づいた研修が行われた。

○コントロールテスト

本研修合宿当初から欠かさずコントロールテストを実施してきたが、過去のデータを集約し、U16全国研修合宿での得点表を作成した。

○U16全国研修合宿参加選手

U16全国研修合宿は2010年度から実施され、今回で7回目の開催となった。延べ527名の選手が参加したが、本研修合宿を経験した



コントロールテスト得点表

男子

得点	30m走 (秒)	立幅跳 (m)	立五段跳 (m)	MD前 (m) ※1	MD後 (m)	QJ (回) ※2	ホッピング (回)
10	3.43以下	2.80以上	14.20以上	13.1以上	13.0以上	115以上	7.1以下
9	3.44~3.51	2.73~2.79	13.78~14.19	12.5~13.0	12.2~12.9	110~114	7.2~7.3
8	3.52~3.59	2.66~2.72	13.36~13.77	11.8~12.4	11.4~12.1	104~109	7.4~7.6
7	3.60~3.67	2.59~2.65	12.94~13.35	11.2~11.7	10.7~11.3	99~103	7.7~7.9
6	3.68~3.75	2.52~2.58	12.52~12.93	10.5~11.1	9.9~10.6	94~98	8.0~8.2
5	3.76~3.83	2.45~2.51	12.10~12.51	9.9~10.4	9.2~9.8	88~93	8.3~8.4
4	3.84~3.91	2.38~2.44	11.68~12.09	9.3~9.8	8.4~9.1	83~87	8.5~8.7
3	3.92~3.98	2.31~2.37	11.26~11.67	8.6~9.2	7.7~8.3	78~82	8.8~9.0
2	3.99~4.06	2.24~2.30	10.84~11.25	8.0~8.5	6.9~7.6	72~77	9.1~9.3
1	4.07以上	2.23以下	10.83以下	7.9以下	6.8以下	71以下	9.4以上
平均値	3.75	2.52	12.52	10.5	9.9	94	8.2
最高値	3.36	2.83	14.75	14.0	14.5	122	7.0

女子

得点	30m走 (秒)	立幅跳 (m)	立五段跳 (m)	MD前 (m) ※1	MD後 (m)	QJ (回) ※2	ホッピング (回)
10	3.77以下	2.46以上	12.16以上	11.2以上	10.7以上	117以上	8.1以下
9	3.78~3.86	2.39~2.45	11.84~12.15	10.5~11.1	10.0~10.6	111~116	8.2~8.4
8	3.87~3.96	2.31~2.38	11.52~11.83	9.9~10.4	9.2~9.9	106~110	8.5~8.7
7	3.95~4.05	2.24~2.30	11.20~11.51	9.2~9.8	8.4~9.1	100~105	8.8~9.1
6	4.06~4.14	2.18~2.23	10.88~11.19	8.6~9.1	7.6~8.3	95~99	9.2~9.4
5	4.15~4.23	2.10~2.17	10.55~10.87	8.0~8.5	6.8~7.5	89~94	9.5~9.7
4	4.24~4.33	2.02~2.09	10.23~10.54	7.3~7.9	6.1~6.7	84~88	9.8~10.1
3	4.34~4.42	1.95~2.01	9.91~10.22	6.6~7.2	5.3~6.0	78~83	10.2~10.4
2	4.43~4.51	1.88~1.94	9.59~9.90	6.0~6.5	4.5~5.2	73~77	10.5~10.8
1	4.52以上	1.87以下	9.58以下	5.9以下	4.4以下	72以下	10.9以上
平均値	4.14	2.17	10.88	8.6	7.6	95	9.4
最高値	3.75	2.60	12.79	12.3	12.3	140	8.0

※1 MD：メディシンボール投

※2 QJ：クイックジャンプ

選手が、将来オリンピックや世界陸上で活躍することが大いに期待される。実際に本研修合宿に参加した選手で、現在U20オリンピック育成競技者、U20世界選手権に選出された選手の一覧である。U20オリンピック育成競技者には10名が選出され、2名がU20世界選手権日本代表に選出されている。

年度	氏名	U20オリンピック育成競技者	U20世界選手権
2011年度	山下 潤	○	○
	福田 翔子	○	—
	幸長 慎一	—	○
	宮本 大輔	○	—
2012年度	齋藤 勇真	○	—
	池川 博史	○	—
	池崎 愛里	○	—
	尾山 和華	○	—
	桑原 翠	○	—
2014年度	高良 彩花	○	—



日本陸上競技連盟栄養セミナー2017開催要項

日本陸上競技連盟では食育プロジェクトを立ち上げ、選手指導者に対する教育プログラムなどを実施しています。2017年度も選手の栄養サポートに関わる方に広く集まっていたが、「日本陸上競技連盟栄養セミナー2017」を開催することといたしました。第2回となる今回は「めがせ骨太アスリート～丈夫な骨を作る栄養について考える～」(予定)をテーマに開催いたします。

イベント名	日本陸連栄養セミナー 2017
主催	日本陸上競技連盟
日時	2017年4月9日(日) 13時~16時30分(予定)
場所	味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室
参加資格	実業団、大学、高校、中学などの陸上競技の指導、栄養サポート、医学サポートに携わる方、都道府県陸上競技協会関係者
申込期間	2017年3月1日(水)~
申込方法	日本陸連HP (http://www.jaaf.or.jp/) ※WEBのみの申込となります。
参加費	無料
定員	100名
問合せ	日本陸連指導者養成担当 coach@jaaf.or.jp

第207回 国際陸上競技連盟(IAAF)カOUNCIL会議 報告

会長 横川 浩

第207回国際陸上競技連盟カOUNCIL会議(2016年11月30日/12月1日)がモナコで開催されたので、国際陸上競技連盟(IAAF)のカOUNCILメンバーとして参加した。同会議の概要は以下の通りである。

1. ロシア問題

・ルネ・アンデルセン調査団長から報告が行われ、資格停止処分解除のための条件については、一定の改善が見られた。例えば、指導者や選手に向けたアンチ・ドーピング教育体制の強化、捜査機関への協力体制の確立、刑事責任を問う法案の可決等が挙げられる。しかし、現段階では、外部の圧力を受けずに、国内で適切な反ドーピング体制の環境を整えられるかが課題として残るとして、資格停止処分解除の継続を決定した。

・ロシア陸連に所属する選手は、組織的な違反とは無縁であり、不正の無い環境で適切な検査を受けている事実等を証明出来た場合に、“中立”の立場の個人資格で、国際大会に出場する事が出来る。規則22.1Aの改正が承認された。

・2017年1月に調査団を、事実関係の検証のためにモスクワに派遣する。その調査報告を受けて、2月開催予定のカOUNCIL会議で処分解除について検討する。

2. ガバナンス体制の改革

・ガバナンス体制改革案の内容について、各エリアでフォーラムが開催され、活発な意見交換がなされた。特にジェンダーバランスについての議論が多かった。それを受け、2016年12月3日開催の臨時総会に諮る改革案を以下の通りとした。

① कांग्रेस: “IAAF及びスポーツの最高権威”の政策決定機関とし、IAAF内の全ての組織は कांग्रेसへの報告義務を負う。各加盟団体(MF)は最大3名の कांग्रेस代表を派遣する事が出来、各MFに対して一票の投票権が与えられる。 कांग्रेस代表については、男女の制限を設けない事とする。

② コンベンション: 総会の際にフォーラムの形で実施され、情報提供や意見交換の場とする。

③ カOUNCIL: カOUNCILメンバーは26名で構成され、会長1名、副会長4名、エリア代表6名、アスリート・コミッション代表2名、個人の資格でのカOUNCILメンバー13名となる。ジェンダーバランスについては、2019年の選挙では、最低でも女性7名(副会長1名とアスリート委員1名含む)、2023年には10名(副会長1名とアスリート委員1名含む)、2027年には13名(副会長2名とアスリート委員1名含む)とする。任期は1期4年で、最長3期とするが、現カOUNCILメンバーについては、改選後2期の2027年まで務める事が出来る。年令制限は撤廃する。

④ エグゼクティブ・ボード(EB): メンバーは9名で構成され、会長、副会長4名、EB任命パネル選出委員3名、議決権を持たないCEOから成る。ジェンダーバランスは、2019年/2023年選挙では、指名枠(3名)で考慮し、2027年には最低3名を女性とする。指名枠の3名については、各MFからの推薦を考慮し、陸上界の人材を優先する。

⑤ 会長: 単独での権限を減らし、 कांग्रेस、カOUNCIL、EBからの権限委任の下、活動や報告を行う。

⑥ 副会長: 4名が選挙で選出されるが、その内1名の上席副会長はカOUNCILメンバーによって選出される。2019年/2023年選挙では、最低でも女性1名、2027年選挙では2名とする。

⑦ CEO(Chief Executive Officer): IAAFのマネージメントの責任者とする。

⑧ コミッッション: 2019年から、コミッティーが廃止され、全てコミッションとなるが、委員を選出する際には、エリアバランス、ジェンダーバランスを考慮する。

⑨ IAAF関係者のエリジビリティ: IAAF活動に携わるには、個人の権益を開示し、審査規則を満たさなければならない。

各人のエリジビリティは、IAAFとは独立した3名のメンバーから構成される審査パネルが審議する。

⑩ 行動規範(Integrity Code of Conduct): 倫理規定、ドーピング防止規則、賄賂、年齢詐称、国籍変更、利益相反、大会開催入札規則、広告規定等のインテグリティに関連する全事項を網羅する。

⑪ インテグリティ・ユニット: 2017年4月3日設置予定の独立した監視部門で、年間予算は800万ドルになる。

⑫ 懲戒審判所(Disciplinary Tribunal): 2017年4月3日設置予定の独立した制裁機関。

⑬ 外部監査組織: 2019年より設置し、 कांग्रेसへの報告を行う。

⑭ 透明性を保つための基準(Transparency Standards): IAAF規則に組み込まれる。

3. ワーキンググループの活動報告

・国籍変更、年令詐称、記録の信憑性の各ワーキンググループから負託事項の説明が行われ、承認された。国籍変更は、陸上界を取り巻く重要課題であり、筆者は委員長として、論点や事実の整理と提案作成を統率する。

4. IAAF 国際競技会

・2017年世界リレー(2017年4月22日~23日、パハマ)のタイムテーブルが承認された。パハマという小さな国で、大きな大会を実施する事の意義が重視され、2019年もパハマで開催される。・2017年U18世界陸上競技選手権大会(2017年7月13日~18日、ケニア・ナイロビ)のタイムテーブルと参加標準記録が承認された。今回で最後の大会となり、今後のU18大会はエリアを中心に実施していく。

・2017年世界陸上競技選手権大会(2017年8月4日~13日、ロンドン)の参加標準記録が承認された。

5. 今後のIAAF主催大会開催立候補地

・2018年世界競歩チーム選手権は唯一の立候補地であった、中国・太倉に決定した。太倉は2014年の同大会(当時の大会名はワールドカップ競歩)も主催し、高い評価を受けている。

・2019年世界クロスカントリー選手権は唯一の立候補地であった、デンマーク・オーフスに決定した。デンマーク陸連は2014年にコペンハーゲンで開催した世界ハーフマラソン大会の実績が高く評価されている。

6. その他

・IAAFワールド・インドア・ツアーのストックホルム大会が中止になり、代わってポーランド・トルンで開催される。

・競歩競技の違反リスクを低減する電子システムのフェーズIIを今後18か月かけて実施し、2019年世界陸上競技選手権大会での導入を目指す。

・女子50km競歩の世界記録を公認する事とする。2017年1月1日以降に、世界記録の公認条件を満たした大会で、4時間30分以下の記録が対象となる。

・アシックスと2017年から2019年までの3年間の公式協賛社の契約を締結した。

・2016年11月29日より、IAAFのウェブサイトにドーピング通報のポータルサイトが設置された。導入後2日間で43件のドーピング違反に関する情報提供があった。

・2015年ドーピング検査数は4700検体、2016年は6000検体を超えた。今後は、単に検査数を増加するだけでなく、新たなドーピング違反発見方法も模索する。

7. 上記カOUNCIL会議での決議を経て、12月3日に臨時総会が開催され、ガバナンス体制改革案(上記2項)が賛成多数で承認された。新たなIAAF憲章が採択され、コー会長は「陸上の歴史で非常に重要な決断だ」と述べた。全体投票数197票の内、賛成は182票、反対は10票、無効は5票であった。

国際陸上競技連盟 (IAAF) から各国陸連等に発信される通達文書一覧

IAAF (国際陸上競技連盟) は、各種伝達事項を、サーキュラー (通達) として各国陸連をはじめ関係者に送付している。2016年に発信された全通達のタイトルは次の通りである。

このうちIAAFカOUNシル会議での重要決定事項等については、陸連時報にIAAFカOUNシル会議報告で掲載しているので、過去の陸連時報をご参照頂きたい。

なお、各通達番号の最初の英文字“M”は「各国陸連宛て」を示し、次の数字は通し番号、最後の数字は年を示している。

(例)「M/01/16 2016年IAAF世界記録リスト」は「2016年第1通目の各国陸連宛通達」であることを示す。

M/01/16	2016年IAAF世界記録リスト	2016年1月7日
M/02/16	2015年 年次報告	2016年1月19日
M/03/16	2016年 IAAF 休業日と各種申請書類の提出期限	2016年1月23日
M/04/16	IAAF主催競技会参加時の旅行医療保険加入	2016年1月25日
M/05/16	IAAF世界競歩チーム選手権大会の案内 (2016年5月7日/8日、イタリア・ローマ)	2016年2月12日
M/06/16	第31回オリンピック競技大会に関する情報 (2016年8月12日～21日、ブラジル・リオデジャネイロ)	2016年2月24日
M/07/16	IAAF U20世界陸上競技選手権大会の案内 (2016年7月19日～24日、ポーランド・ビドゴシチ)	2016年3月4日
M/08/16	2019ワールド・アスレティック・シリーズ 開催立候補案内	2016年3月29日
M/09/16	IAAF世界競歩チーム選手権大会の競技規則 (50km競歩)	2016年4月18日
M/10/16	IAAF U20世界陸上競技選手権大会コーチ・カンファレンス	2016年4月19日
M/11/16	第31回オリンピック競技大会の追加情報	2016年4月21日
M/12/16	IAAF Women in Athletics Award	2016年4月28日
M/13/16	IAAFカOUNシル会議 決定事項と各種情報 (2016年3月10日/11日、モナコ)	2016年5月17日
M/14/16	IAAF世界陸上競技選手権大会 (2017年ロンドン) サイトビジット	2016年7月13日
M/15/16	IAAFガバナンス体制改革案	2016年8月4日
M/16/16	IAAF臨時カOUNシル会議 決定事項と各種情報 (2016年6月17日、オーストリア・ウィーン)	2016年8月9日
M/17/16	第50回IAAF総会の議事録	2016年9月7日
M/18/16	IAAFカOUNシル会議 決定事項と各種情報 (2016年8月10日 / 8月20日、リオデジャネイロ)	2016年9月8日
M/19/16	2018世界競歩チーム選手権 開催立候補案内	2016年9月2日
M/20/16	IAAF臨時総会の案内 (2016年12月3日、モナコ)	2016年9月2日
M/21/16	AOD (Athletics Olympic Dividend)の申請と報告	2016年9月19日
M/22/16	IAAF臨時総会 (2016年12月3日、モナコ)	2016年10月6日
M/23/16	IAAF臨時総会 (2016年12月3日、モナコ) 追加情報	2016年10月10日
M/24/16	IAAF世界陸上競技選手権大会、第51回IAAF総会の案内 (2017年ロンドン)	2016年10月19日
M/25/16	IAAF競技者代理人規定 (世界30歳対象)	2016年10月25日
M/26/16	IAAF世界クロスカントリー選手権大会の案内 (2017年3月26日、ウガンダ・カンパラ)	2016年10月27日
M/27/16	IAAF世界リレー 2017の案内 (2017年4月22日/23日、バハマ・ナッソー)	2016年11月16日
M/28/16	IAAF第51回総会の開催案内 (2017年8月2日/3日、ロンドン)	2016年12月2日
M/29/16	IAAFカOUNシル会議 決定事項と各種情報 (2016年11月30日/12月1日、モナコ)	2016年12月17日
M/30/16	IAAF臨時総会 決定事項 (2016年12月3日、モナコ)	2016年12月22日

施設用器具委員会報告 (2016-2)

施設用器具委員会

◆2016年度に公認した競技場及び長距離競走路

(2016.09.29～2016.12.21)

9273	上山市営(陸) 第4種 300m 土質 継続	山形県上山市長清水3の7の1 2016.10.10～2021.10.09	9290	湯沢町中央公園(陸) 第4種 400m 土質 継続	新潟県南魚沼郡湯沢町大字土樽151の1 2016.12.01～2021.11.30
9274	猪苗代湖(ハ) ▽21km0975 自転車計測 循環(一部往復) 継続	福島県猪苗代町総合体育館カメリーナ前～ 2016.10.15～2021.10.14	9291	茅野市(運)(陸) 第3種 400m 全天候 継続	長野県茅野市玉川500 2016.12.01～2021.11.30
9275	京都産業大学総合(グ)(陸) 第4種 400m 全天候 継続	京都府京都市北区上賀茂神山1 2016.11.01～2021.10.31	9292	北斗市(運)(陸) 第4種 400m 全天候 継続・改造	北海道北斗市押上1の3の1 2016.11.28～2021.11.27
9276	札幌市丸山(競) 第2種 400m 全天候 継続	北海道札幌市中央区宮ヶ丘3 2016.11.07～2021.11.06	9293	平川市(陸) コード番号 024110 第4種 400m 全天候 新設	青森県平川市町居南田252の1 2016.12.01～2021.11.30
9277	富良野(陸) 第4種 400m 土質 継続	北海道富良野市桂木町5 2016.09.11～2021.09.10	9294	日居城野(陸) 第4種 400m 全天候 継続	岩手県花巻市松園町613 2016.11.26～2021.11.25
9278	ちばアクアライン(長) コード番号 127160 ▽42km195 21km0975 自転車計測 循環(一部往復) 新設	潮浜公園～旧木更津市役所 2016.11.01～2021.10.31	9295	佐渡市(陸) 第3種 400m 全天候 継続	新潟県佐渡市名古屋146の1 2016.11.28～2021.11.27
9279	柏崎市(陸) 第2種 400m 全天候 継続	新潟県柏崎市学校町1の40 2016.11.01～2021.10.31	9296	東大阪市花園中央公園多目的(競) 大阪府東大阪市吉田7丁目地内	第3種 400m 全天候 継続 2017.02.20～2022.02.19
9280	十日町市(陸) 第2種 400m 全天候 継続	新潟県十日町市中条乙2563 2016.11.20～2021.11.19	9297	福山市竹ヶ端(運)(陸) 第2種 400m 全天候 継続	広島県福山市水呑町4748 2017.01.01～2021.12.31
9281	三国(運)(陸) 第2種 400m 全天候 継続	福井県坂井市三国町運動公園1丁目 2016.03.19～2021.03.18	9298	角田市(陸) 第3種 400m 全天候 継続・改造	宮城県角田市枝野字青木155の47 2016.12.01～2021.11.30
9282	静岡(長) ◆42km195 自転車計測 片道 継続	静岡市役所静岡庁舎前～清水テルサ前 2016.12.01～2021.11.30	9299	葛飾(ハ) コード番号 137550 ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 新設	東京都葛飾区立堀切水辺公園～ 2016.12.21～2021.12.20
9283	熊本城(長) ◆42km195 30km 自転車計測 循環 継続	下通りアーケード街入口～熊本城二の丸 2016.12.01～2021.11.30	9300	東京女子体育大学(陸) コード番号 134280 第4種 300m 全天候 新設	東京都国立市富士見台4の30の1 2016.12.20～2021.12.19
9284	岩見沢市東山公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続	北海道岩見沢市総合公園4 2016.10.31～2021.10.30	9301	国士館大学多摩(陸) 第3種 400m 全天候 継続	東京都多摩市永山7の3の1 2016.12.20～2021.12.19
9285	奥州きらめき(長) コード番号 037330 ▽42km195 10km 自転車計測 循環(一部往復) 新設	前沢いきいきスポーツランド～ 2016.11.01～2021.10.31	9302	松本(長) コード番号 207240 ▽42km195 自転車計測 片道 新設	長野県松本市総合体育館～ 信州スカイパーク(陸) 2017.01.01～2021.12.31
9286	大館ハチ公(ハ) ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 継続	秋田県大館市長根山公園(陸)～ 2016.12.01～2021.11.30	9303	唐津(10哩) ◆10哩 10km 自転車計測 往復 継続	佐賀県唐津市(陸)～ 2017.02.01～2022.01.31
9287	いたばしリバーサイド第2(ハ) コード番号 137540 ▽21km0975 自転車計測 往復 新設	荒川戸田橋(競)～ 2016.11.10～2021.11.09	◆検定延期が承認されている競技場及び長距離競走路 (2016.12.21現在)		
9288	立川シティ(ハ) ▽21km0975 自転車計測 循環(一部往復) 継続 国営昭和記念公園みんなの原っぱ協東側	陸上自衛隊立川駐屯地滑走路南側～ 2016.11.20～2021.11.19	[北海道] 士別市(陸)	第3種 400m	2016.10.17～2017.06.30
9289	井原公認(長) 42km195 21km0975 ワイヤー計測 往復 継続	井原(運)(陸)～ 2016.11.01～2021.10.31	[岩手] 北上陸上補助(競)	第3種 400m	2017.03.01～2018.02.28
			[山形] 新庄市(陸)	第4種 400m	2016.10.30～2017.05.31
			[東京] 代々木公園(陸)	第3種 400m	2016.04.07～2017.04.06
			[東京] 立川公園(陸)	第4種 400m	2016.12.01～2017.11.30
			[東京] 武蔵陵マラソン浅川ゆったりロード	10km	2017.01.10～2017.03.15

[新潟] 高田公園(陸) 第2種 400m 2016.07.01～2017.06.30
 [和歌山] 紀三井寺公園補助(競) 第3種 400m 2016.11.01～2016.12.31
 [島根] 島根県立隠岐高等学校屋外運動場 第4種 400m 2016.10.10～2016.12.31
 [広島] 備前市総合(運)多目的(競) 第3種 400m 2016.09.01～2017.08.31

[千葉] 成田市中台(運)(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [東京] 江戸川区(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [東京] 味の素ナショナルトレーニングセンター陸上トレーニング場 第3種⇒第4種(降格)
 [神奈川] 川崎市等々力(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [神奈川] 川崎市等々力第2(陸) 第3種⇒第4種(降格)
 [富山] 高岡市宮城光寺(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [長野] 長野市営(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [大阪] 万博公園(競) 第1種⇒第2種(降格)
 [兵庫] 神戸総合(運)ユニバー記念(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [兵庫] 神戸総合(運)補助(競) 第3種⇒第4種(降格)
 [兵庫] 姫路市立(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [兵庫] 尼崎市記念公園(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [兵庫] 県立明石公園(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [福岡] 福岡県立久留米スポーツセンター(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [長崎] 島原市営(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [大分] 佐伯市(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [大分] 大分市営(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [沖縄] 沖縄市営(陸) 第1種⇒第3種(降格)

◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路 (2016.09.29～2016.12.21)

[岩手] 滝沢総合公園(陸) 第4種 400m 2016.08.31 限り
 [秋田] 男鹿総合(運)(陸) 第4種 400m 2016.10.14 限り
 [栃木] 栃木県総合(運)補助(陸) 第4種 300m 2017.03.31 限り
 [千葉] 千葉県総合スポーツセンター付設(長) 42km195 2016.04.01 限り
 [東京] 味の素スタジアム 第1種 400m 2017.02.28 限り
 [東京] 東京・赤羽(ハ) 21km0975 2016.12.19 限り
 [神奈川] 平塚市総合公園内(ハ) 21km0975 2016.10.09 限り
 [神奈川] 神奈川(ハ) 21km0975 2016.10.21 限り
 [石川] こまつドーム付設(10km) 10km 2016.12.09 限り
 [兵庫] 川西一庫ダム周遊(ハ) 21km0975 2016.08.13 限り
 [兵庫] 加西市立善防中学校(陸)付設(ハ) 21km0975 2016.12.14 限り
 [福岡] 筑後川(長) 42km195 2016.09.30 限り
 [長崎] 長崎国際(長) 42km195 2016.10.31 限り
 [熊本] 天草(長) 42km195 2016.10.10 限り
 [大分] 竹田市(陸) 第4種 400m 2016.12.21 限り
 [鹿児島] 鹿屋(運)(陸) 第4種 400m 2016.10.09 限り
 [鹿児島] 喜界島(長) 42km195 2016.10.26 限り

◆名称変更 (2016.09.29～2016.12.21)

[東京] キタ(ハ)⇒東京・赤羽(上流)(ハ)

◆種別変更のあった競技場 (2016.09.29～2016.12.21)

[青森] 青森県総合(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [秋田] 秋田市営八橋(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [茨城] 古河市中央(運)(陸) 第2種⇒第3種(降格)
 [栃木] 栃木県総合(運)(陸) 第1種⇒第2種(降格)
 [栃木] 足利市総合(運)(陸) 第2種⇒第4種(降格)
 [千葉] ゼットエーオリプリスタジアム 第2種⇒第3種(降格)
 [千葉] 県立青葉の森公園(陸) 第2種⇒第3種(降格)

大会観戦ガイド

第100回日本陸上競技選手権大会男子・女子20km競歩 兼第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン) 男子・女子20km競歩代表選手選考競技会 第28回ジュニア選抜競歩大会

昨年は高橋英輝選手(富士通)が優勝し、リオオリンピック代表に内定と、毎年盛り上がりを見せている日本選手権競歩。今回も有力選手が出場します!

▼日時: 2017年2月19日(日)

▼コース: 兵庫・六甲アイランド甲南大学周辺コース

▼種目・スタート時刻

男子20km競歩(日本選手権)	9時50分
女子20km競歩(日本選手権)	10時10分
ジュニア男子10km競歩	8時50分
ジュニア女子5km競歩	9時00分

▼問合せ先: 一般財団法人兵庫陸上競技協会

TEL 078-231-1771

▼日本陸連WEB内大会ページ

<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1391/>



昨年度の大会の様子

第100回日本陸上競技選手権大会 クロスカントリー競走

日本陸上競技選手権大会として開催されるクロスカントリー競走。ジュニアレースは第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会クロスカントリー競走として開催されます。大自然の中の白熱したレースをお楽しみ下さい!

▼日時: 2017年2月25日(土)

▼会場: 国営海の中道海浜公園クロスカントリーコース
福岡県福岡市東区西戸崎

▼アクセス:

JR鹿兒島線「博多」駅発「香椎」駅乗り換え「西戸崎」駅下車

福岡市営渡船ベイサイドプレイス発、西戸崎港下船

西鉄バス「天神中央郵便局前」発、「西戸崎駅前」下車
うみなかラインもち(マリゾン)発、海の中道下船

▼種目・スタート時刻

ジュニア女子 6km(日本ジュニア選手権種目)	11時00分
ジュニア男子 8km(日本ジュニア選手権種目)	11時30分

シニア女子 8km(日本選手権種目) 12時10分

シニア男子 12km(日本選手権種目) 13時00分

▼テレビ放送予定: JNN全国
28局ネット

2月25日(土)

16時~17時24分

▼問合せ先: 福岡クロカン運
営本部事務局

TEL 092-738-2180

▼日本陸連WEB内大会ページ

<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1454/>



昨年度、女子の部で優勝を果たした阿部有香里(しまむら)

東京マラソン2017

兼第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン) 男子マラソン代表選手選考競技会

11回目を迎える東京マラソン。今年の夏にイギリス・ロンドンで開催される世界選手権の男子代表選手選考会を兼ねています。今年も多くのご声援をお願いします。

▼日時: 2017年2月26日(日)

9時05分(車いすマラソン・10km)、

9時10分(マラソン・10km) スタート

▼会場: スタート/東京都庁前

フィニッシュ/東京駅前・行幸通り(マラソン)、
日本橋(10km)

▼コース: マラソン/東京都庁~飯田橋~神田~日本橋
~浅草雷門~両国~門前仲町~銀座~高輪
~日比谷~東京駅前・行幸通り、10km/東
京都庁~飯田橋~神田~日本橋

▼テレビ放送予定: 日本テレビ系全国ネット

2月26日(日) 9時00分~

▼交通規制のご案内: 大会公式ウェブサイト

<http://www.marathon.tokyo/about/traffic>

▼東京マラソンの新コース・

交通のご案内等に関する

お問い合わせ窓口: 東京

マラソン2017

TEL 03-5579-6333

(受付時間: 10:00~17:00※土日、祝日を除く)

▼日本陸連WEB内大会

ページ

<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1392/>

taikai/1392/



©東京マラソン財団

第72回びわ湖毎日マラソン大会
兼第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)
代表選手選考競技会

男子マラソンの世界選手権代表最終選考会としても、熱い争いが繰り広げられます！

- ▼日時：2017年3月5日(日) 12時30分スタート
- ▼会場(スタート・フィニッシュ)：滋賀・皇子山陸上競技場
滋賀県大津市御陵町4-1
- ▼アクセス(皇子山陸上競技場)：京阪石山坂本線「別所」駅から徒歩1分またはJR湖西線「大津京」駅から徒歩7分
- ▼コース：日本陸連公認びわ湖毎日マラソンコース(42.195km) = 皇子山陸上競技場 - 柳が崎 - 瀬田唐橋西詰 - 石山寺 - 瀬田川洗堰 - 瀬田唐橋東詰 - 県立漕艇場 - 新瀬田浄水場前折り返し - 皇子山陸上競技場

- ▼放送予定：3月5日(日)
 〈テレビ〉12時15分～14時55分 NHK総合
 〈ラジオ〉12時15分～14時55分 NHKラジオ第一

- ▼問合せ先：びわ湖毎日マラソン大会事務局
TEL 06-6346-8249
- ▼日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1393/>



昨年度の大会の様子

名古屋ウィメンズマラソン2017
兼第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)
代表選手選考競技会

大型ウィメンズマラソンとして生まれ変わって6年目を迎える名古屋ウィメンズマラソン。女子マラソンの世界選手権代表最終選考会として開催します！

- ▼日時：2017年3月12日(日) 9時10分スタート
- ▼会場(スタート・フィニッシュ)：愛知・ナゴヤドーム
愛知県名古屋市中区大幸南1-1-1
- ▼アクセス(ナゴヤドーム)：地下鉄、ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩5分、JR、名鉄「大曽根」駅から徒歩約15分
- ▼コース：名古屋ウィメンズマラソンコース
- ▼テレビ放送予定：

フジテレビ系列全国ネット

3月12日(日) 9時00分～11時50分(選考レース)

- ▼問合せ先：マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知ランナーコールセンター
TEL 0570-550661(平日10:00～17:00)
- ▼日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1394/>



昨年度は、五輪代表の座を明け、ゴールまでデッドヒートが繰り広げられた

第41回全日本競歩能美大会 兼 Asian 20km Race Walking Championships in NOMI 2017 兼 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン) 男子・女子20km競歩代表選手選考競技会 併催 第11回日本学生20km競歩選手権大会

アジア選手権を兼ねて開催する本大会。日本のトップウォーカーがアジアNo.1を目指してハイレベルな争いを繰り広げます。また、今夏、イギリス・ロンドンで開催される世界選手権の男子・女子20km競歩の代表選手選考競技会としても開催します。

- ▼日時：2017年3月19日(日)
- ▼コース：石川県能美市・日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース(往復2.0km) ※新コースになりました。
- ▼アクセス(石川県能美市根上野球場付近)：小松空港からタクシーで約15分。北陸本線「小松」駅もしくは「能美根上」駅下車、小松駅からタクシーで約15分、能美根上駅からタクシーで約3分、徒歩約15分。

- ▼種目・競技時間：
 - 〈男子〉中学生 3km競歩 9時10分
全日本・Asian・学生選手権 20km競歩9時50分
 - 〈女子〉中学生 3km競歩 8時40分
全日本・Asian・学生選手権 20km競歩11時40分
- ▼問合せ：第41回全日本競歩能美大会実行委員会事務局
TEL 0761-58-2273
- ▼日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1395/>



昨年度は松永大介(東洋大)が優勝を果たした

事務局からのお知らせ

◆◆「安藤財団グローバルチャレンジプロジェクト」

～2020年へ向けた若手アスリートの海外挑戦支援～2017年春期募集のお知らせ◆◆

日本陸連と公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団は2020年へ向けた若手アスリートの海外挑戦を支援する「安藤財団グローバルチャレンジプロジェクト」の春期募集の実施予定をお知らせいたします。

概要	将来国際大会でメダル獲得を志す陸上競技の若手アスリートの海外挑戦を支援する。
目的	本プロジェクトを通じて、トップアスリートとして求められる資質を身につけ、将来のメダリストの誕生を目指す。
支援内容（予定）	海外短期活動支援 1ヶ月～3ヶ月での海外合宿、転戦、短期留学など
支援対象期間（予定）	2017年7月～9月
募集スケジュール（予定）	エントリー 2017年3月1日（水）～4月14日（金） 面接 4月下旬～5月上旬 対象者の決定 5月中旬～5月下旬

2017年3月1日（水）から4月14日（金）の期間に海外短期活動支援の希望者を募集致します。

▼詳細は公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団HPをご覧ください。

<http://www.ando-zaidan.jp/>

◆◆メールマガジン登録受付中！◆◆

日本陸連公式メールマガジン「JAAFアスレティックメール」を好評配信中です。

メールマガジンでしか読むことのできないコンテンツやプレゼントなども実施していますので、ぜひご登録ください。

登録は<http://mm.jaaf.or.jp/mailmagazine>か、右のQRコードから！



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩（陸連会長）
友永 義治（陸連副会長）
八木 雅夫（陸連副会長）
尾縣 貢（陸連専務理事）
伊東 浩司（陸連強化委員長）
風間 明（陸連事務局長）
牧野 豊（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘
◇時報編集担当
繁田 進
石塚 浩
木越 清信
宮田 宏
高橋 祐哉
小川ちあき

陸連時報編集室

〒163-0717
東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル17階
公益財団法人日本陸上競技連盟 内
TEL 03-5321-6580
FAX 03-5321-6591
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>